様式1　管理運営状況評価書
【対象年度:平成25年度】　（　②福祉施設　）

Ⅰ　施設概要・利用情報　（単位:人、%、円、日）

番号	13	施設名	掛川市大須賀老人福祉ｾﾝﾀｰ	担当課名	高齢者支援課

区分		内容 ・ 説明	
1 施設及び指定管理者の状況	(1)設置条例名	掛川市老人福祉ｾﾝﾀｰ条例	
	(2)施設設置目的	無料または低額な料金で高齢者に関する各種の相談に応じるとともに高齢者に対して健康増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする。	
	(3)施設が有する設備、機能の概要	鉄筋コンクリート造2階建（うち1階部分）　延床面積712.986㎡ 大広間、生活相談室、機能回復訓練室、健康相談室、教養娯楽室、事務室、芝生広場、駐車場	
	(4)施設建設年度	昭和62年	
	(5)耐震性能の有無	あり	
	(6)将来予想される改修経費（想定年度と費用見込み）	カーテン補修	
	(7)指定管理者名	社会福祉法人掛川市社会福祉協議会	
	(8)指定期間	平成23年　4月　1日　から　平成　28年　3月31日　まで	
	(9)施設の管理運営形態	①指定管理料のみによる運営	
	(10)自主事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(11)指定事業の有無	☐ 実施あり　☑ 実施なし　※実施ありの場合は、収支状況をⅢ－(3)欄に記入のこと。	
	(12)事業報告書提出の有無	☑ 提出あり（地自法第244条の2第7項による提出義務）　☐ 提出なし	
	(13)利用者満足度調査等実施の有無	☑ 実施あり　☐ 実施なし　※実施ありの場合、（直近の実施年度　平成　25　年度）	

区分				H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
2 利用状況	(1)施設利用者数			17,581	19,242	19,012		
	内訳（施設・設備ごと）	大須賀老人福祉センター		17,581	19,242	19,012		
	(2)稼働率（利用率）							↓備考欄に算定式を記入してください↓
	（施設・設備ごと）		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

2 利用状況	（施設・設備ごと）		A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					
			A平日昼間					
			B平日夜間					
			C土日祝昼間					
			D土日祝夜間					

区分			H23実績	H24実績	H25実績	H26当初	備考
3 管理・運営状況	(1)指定管理者名						※1-(7) 現在の指定管理者と異なる年度のみ記入
	(2)利用者一人当たりの運営経費		257	276	401		
	(3)運営日数		245	245	244	244	
	(4)運営人員	①正規職員	1.0	1.0	1.0	1.0	※指定管理者の組織構成員全体の人数ではなく、当該指定管理施設で働いている実人数を記入してください。
		②臨時職員	1.0	1.0	1.0	1.0	

Ⅱ 施設管理に係るコスト情報

（単位：円、%）

区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
	①人件費	3,357,966	4,168,342	6,315,083	6,697,000	
	②印刷費	59,221	70,954	75,802	90,000	
	③通信費	95,215	92,034	94,429	95,000	

(1)運営コスト（A）	④事務用品、旅費、図書費など	333,703	266,305	243,297	176,000	
	⑤借上料	47,754	403,578	487,578	563,000	
	⑥保険料、消費税（租税公課）等	78,850	59,190	82,590	83,000	
	⑦その他(支払手数料、広告宣伝費、一般管理費、雑費)	542,798	249,927	328,815	343,000	
	計	4,515,507	5,310,330	7,627,594	8,047,000	
	対前年度増減率		17.6	43.6	5.5	
区分		H23決算額	H24決算額	H25決算額	H26当初予算額	備考
(2)施設コスト（B）	①管理委託費(外注費)	955,995	899,760	1,367,730	865,000	
	浄化槽保守点検業務	352,800	352,800	776,550		
	清掃業務	322,320	319,110	306,630	342,000	
	空調機器保守点検業務	227,850	227,850	227,850	248,000	
	ヘルストロン保守点検業務	53,025		56,700	59,000	
	消防設備保守点検業務				58,000	
	電気保守点検業務				158,000	
	②修繕費	340,431	519,645	315,649	280,000	
	③光熱水費	134,282	145,401	146,196	1,632,000	
	④燃料費		179,996	224,000	294,000	
	⑤清掃費					
	⑥保守点検費	15,000				
	⑦その他(施設消耗品)		100,189	87,798	190,000	
	計	1,445,708	1,844,991	2,141,373	3,261,000	
	対前年度増減率		27.6	16.1	52.3	
(3)トータルコスト（施設管理費　合計）（A）＋（B）		5,961,215	7,155,321	9,768,967	11,308,000	

(4)合計のうち運営コストの割合	75.7	74.2	78.1	71.2	
(5)施設の収入　※1）下記3に入力する	7,890	5,070	10,275		
(6)運営コストのうち利用料収入の割合	0.2	0.1	0.1		

Ⅲ　収支差額の状況　　注）【指定管理料施設は(1)欄に、利用料金制度又は両制度併用施設は(2)欄に記入。また、自主事業を実施している施設は(3)欄に記入】

(1)指定管理料のみで運営している施設　　（単位：円）

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設使用料収入	7,890	5,070	10,275	※施設使用料は、掛川市へ収入される
b) 指定管理料	5,958,215	7,155,321	9,768,967	
収支差額　a）－b）	△ 5,950,325	△ 7,150,251	△ 9,758,692	

(2)利用料金制度施設又は指定管理料・利用料金併用制度施設　　（単位：円）

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 施設利用料金収入				※施設利用料金は、指定管理者へ収入される
b) 収支差額（　a－トータルコスト）				
c)　bに対する市の支出額（指定管理料）				

(3)自主事業及び指定事業・その他事業の状況　　（単位：円）

区分	H23決算額	H24決算額	H25決算額	備考
a) 自主事業の収入				
b) 自主事業の支出				
収支差額　a）－b）	0	0	0	
c) 指定事業・その他事業の収入				
d) 指定事業・その他事業の支出				
収支差額　c）－d）	0	0	0	

Ⅳ　担当課による評価

（1）施設設置目的の達成度

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	設置目的を達成できている	3	年間延人数で17，000人以上の高齢者に利用されている。引き続き多くの人に利用して貰えるような管理を続けていくこと。
2	設置目的をほぼ達成できている。		
1	設置目的を一部達成できていない。		
0	設置目的を達成できていない。		

（2）利用者数の増加

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	前年度より50％以上増加している。	2	年々利用者が増えている理由の一つとしてスタッフの対応の良さがあげられる。異動によりスタッフが代わったとしても接客の質を維持できるように努めること。
2	前年度より増加している。		
1	前年度並みである。		
0	前年度より大幅に減少している（原因を追及する）。		

（3）収支の改善状況

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	黒字である。	1	利用料の支払いを見込めるのが業者のみであるため、指定管理にかかる利用料収入をみると赤字になってしまう。しかし、年間多くの高齢者が利用し、介護予防の効果は、大きいと考える。高齢者から利用料金を徴収するためには、条例の改正が必要で有り、慎重を要する。
2	収支均衡している。／前年度より収支差額が縮小(改善)している。		
1	赤字である。／前年度と同等の収支差額である。		
0	大幅な赤字である。／前年度より収支差額（赤字）が増えている。		

（4）安全対策・危機管理体制など

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	利用者の安全対策や危機管理体制は万全である。	2	防災等のマニュアルを備え、定期的に訓練を行っている。引き続き実施し、有事の際には利用者の安全確保に努めること。
2	万全とは言えないが、事故等が発生する確率は低い。		
1	安全対策・危機管理体制は整っているが、昨年度事故等が発生している。		
0	利用者の安全対策や危機管理体制に不備があり、改善が必要である。		

（5）本施設（事業）の継続性と行政の関与について

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	民間が実施できる事業であり、行政が実施しなくてよい。 （施設の貸付、売却、譲渡、独立採算制などを検討）	0	老人福祉センターは、条例により高齢者は無料となる。民間で実施となった場合、利用料収入が無いため、運営は難しいと考える。
2	民間が実施できるが、行政の関与が必要である。 （直営化、一定額指定管理料制度など）		
1	現在の指定管理で良いが、大幅な経営改善が必要である。 （独立採算制、一定額指定管理料制度への移行など）		
0	民間では実施できない、担い手がいないため、行政がやるべきである。 （直営化、収支差額補てん型指定管理者制度など）		

（6）総合評価

点数	評価基準	評価	改善を要する点（何を、いつまでに、どのように）
3	本施設の指定管理者として、特に優れている。最適である。	3	事故の報告も無く、利用者のスタッフに対する満足度も高いため、これを維持するような体制とすること。
2	本施設の指定管理者として、問題はなく適当である。		
1	本施設の指定管理者として、やや劣っている。改善を要する。		
0	本施設の指定管理者として、著しく劣る。適当でない。		

合計	11	／18

Ⅴ　その他自由意見